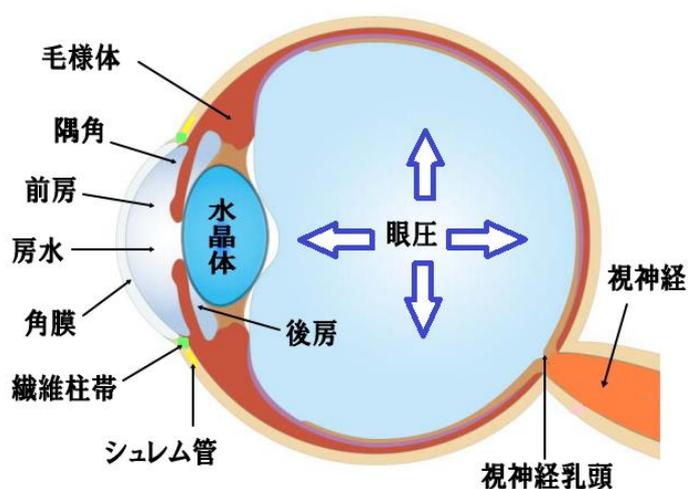


眼圧検査

眼圧検査とは眼球を常に一定の大きさ、形に維持するために必要な眼球の圧力のことです。眼圧が大きくなり変化して眼の大きさや形が変化してしまうと、それまで正常に機能していたピント合わせの作業が困難になってしまいます。この眼圧を維持する役割をしているのが「房水」といわれる体液です。房水は眼球に酸素や酵素、養分を補給すると同時に眼球に必要でない老廃物を体外に排出する働きもしていますが、何らかの原因で房水の循環に支障が起こると眼圧が高くなります。

眼球の構造



眼圧の基準値

検査結果 (mmHg)	判定	疑われる疾患
9～20	正常範囲	
21以上	高眼圧	緑内障、高眼圧症
8以下	低眼圧	網膜剥離、虹彩毛様体炎

検査時の注意

検査時は必ず裸眼の状態で行いますので眼鏡、コンタクトレンズを外していただきます。

眼圧の変動

眼圧は一日の時刻で変動し、季節や体位によっても変動します。また、眼精疲労やその他の要因によって眼圧が少し変動することは珍しくなく、眼が疲れていない人でも一日に5 mmHgぐらいは変動しています。

緑内障

眼圧が高くなって視神経乳頭が圧迫され、障害を受けることによって眼で見た映像を脳に伝える視神経が死滅し、神経が欠けてしまうことにより視野欠損が生じ、重症な場合には失明してしまう病気です。また、正常な眼圧で発症する「正常眼圧緑内障」もあります。

緑内障の症状

ほとんどの緑内障では自覚症状が少なく、本人の気が付かないうちに徐々に進行していきそのまま放置すると視野欠損などの視野異常を起こすことがあります。また、一部には急激な眼圧症状により、一時的な吐き気や頭痛、眼の痛み、眼のかすみを生じる急性緑内障発作を起こす場合があります。

緑内障の予防

緑内障は早期発見が一番重要です。緑内障は早期では自覚症状が少ないのが現実で、そのため40歳を過ぎたらできるだけ検査を受け、早期治療をすることが大切です。